

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

| | | | | | |
|------------------------------|--|---|--|--------|--------------|
| 系統名 | 駿河平線 | | | 事業者名 | 富士急シティバス株式会社 |
| 路線の状況 | 起点 | 経由地 | 終点 | | |
| | 三島駅 | 下土狩駅 がんセンター | 駿河平 | | |
| 系統キロ程 (km) | 10.6 | 輸送量 (人/日) | 31.2 | | |
| 平均乗車密度 (人/便) | 4.4 | 運行回数 (回/日) | 7.1 | | |
| 公共・拠点 アクセス 状況 | 学校 | 長泉北小学校、長泉小・中学校 | | | |
| | 病院 | 県立がんセンター | | | |
| | 商業施設 | ウエルディ長泉、クレマチスの丘、ピュフェ美術館等、スルガ銀行、バックマンコールター | | | |
| | その他 | JR下土狩駅、JR三島駅、伊豆箱根鉄道広小路駅、長泉町役場、長泉健康公園、三島市民会館、長泉町文化会館、ファルマパレーセンター | | | |
| 収支率 (%) (収益/費用) | 82.2 | | 乗車人員 (人) | 65,801 | |
| 乗換可能な アクセス拠点等 | 拠点3 バス停3 | 名称 | 拠点：JR下土狩駅、JR三島駅、伊豆箱根鉄道広小路駅 バス停：長泉役場、城山、がんセンター | | |
| 広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合) | 50.0 | | | | |
| 增收策 | 1) 行政と連携した地域との意見交換を行っており、今後の路線バスの検討を行うとともに、その機会を利用して路線の存在をアピールすることにより、利用促進を図った。 2) WEBサイトでの時刻表検索サービスの開始及び、乗換検索サービスのコンテンツプロバイダへのデータ提供により、時刻表検索サービスに対応させている。 (ナビタイム・駅すばあと) 3) 幼稚園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施した。 4) ノンステップバスを導入（車両更新）するとともに、既存車両についても案内表示装置を更新し、使いやすいバス環境を整備した。 | | | | |
| 費用削減策 | 1) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した。 2) アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った。 3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った。 4) 効率的な仕業再編による乗務員人件費の抑制を図った。 | | | | |
| 沿線市町のサポート | 別紙のとおり | | | | |
| 利用実態 | <p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p> | | | | |

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

| | | | | | |
|------------------------------|--|---|---|--------|--------------|
| 系統名 | 須山線 | | | 事業者名 | 富士急シティバス株式会社 |
| 路線の状況 | 起点 | 経由地 | 終点 | | |
| | 三島駅 | 御宿 下和田上 | 須山 | | |
| 系統キロ程 (km) | 19.8 | 輸送量 (人/日) | 20.7 | | |
| 平均乗車密度 (人/便) | 3.0 | 運行回数 (回/日) | 6.9 | | |
| 公共・拠点施設 アクセス状況 | 学校 | 日本大学、日大三島高校、三島北小・中学校、徳倉小学校、裾野西小学校、富岡第一小学校、富岡中学校、富岡第二小学校、須山小・中学校 | | | |
| | 病院 | 大橋医院 | | | |
| | 商業施設 | ベルシティ | | | |
| | その他 | 裾野市役所、裾野市富岡支所、裾野市須山支所、裾野警察署、JR三島駅、JR裾野駅 | | | |
| 収支率 (%) (収益/費用) | 46.8 | | 乗車人員 (人) | 85,098 | |
| 乗換可能な アクセス拠点等 | 拠点2 バス停8 | 名称 | 拠点：JR三島駅、JR裾野駅 バス停：東レ入口、萩芙蓉台、三菱前、佐野、御宿、東名裾野、今里 | | |
| 広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合) | 23.0 | | | | |
| 増収策 | <p>1) 行政と連携した地域との意見交換を行っており、今後の路線バスの検討を行うとともに、その機会を利用して路線の存在をアピールすることにより、利用促進を図った。</p> <p>2) WEBサイトでの時刻表検索サービスの開始及び、乗換検索サービスのコンテンツプロバイダへのデータ提供により、時刻表検索サービスに対応させている。 (ナビタイム・駅すばあと)</p> <p>3) 幼稚園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施した。</p> <p>4) ノンステップバスを導入（車両更新）するとともに、既存車両についても案内表示装置を更新し、使いやすいバス環境を整備した。</p> | | | | |
| 費用削減策 | <p>1) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した。</p> <p>2) アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った。</p> <p>3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った。</p> <p>4) 効率的な作業再編による乗務員人件費の抑制を図った。</p> | | | | |
| 沿線市町のサポート | 別紙のとおり | | | | |
| 利用実態 | <p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>平均乗車密度(人/便) 10 運行回数(回/日) 30</p> <p>収支率(%) 100 乗車人員(人) 300,000</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 広域利用状況(%) 100</p> | | | | |

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

| | | | | | |
|------------------------------|--|---|---|--------|--------------|
| 系統名 | 須山線 | | | 事業者名 | 富士急シティバス株式会社 |
| 路線の状況 | 起点 | 経由地 | 終点 | | |
| | 三島駅 | 御宿 | 下和田上 | | |
| 系統キロ程 (km) | 15.4 | 輸送量 (人/日) | 15.8 | | |
| 平均乗車密度 (人/便) | 4.4 | 運行回数 (回/日) | 3.6 | | |
| 公共・拠点施設 アクセス状況 | 学校 | 日本大学、日大三島高校、三島北小・中学校、徳倉小学校、裾野西小学校、富岡第一小学校、富岡中学校、富岡第二小学校、須山小・中学校 | | | |
| | 病院 | 大橋医院 | | | |
| | 商業施設 | ベルシティ | | | |
| | その他 | 裾野市役所、裾野市富岡支所、裾野市須山支所、裾野警察署、JR三島駅、JR裾野駅 | | | |
| 収支率 (%) (収益/費用) | 72.0 | | 乗車人員 (人) | 54,874 | |
| 乗換可能な アクセス拠点等 | 拠点2 バス停7 | 名称 | 拠点：JR三島駅、JR裾野駅 バス停：東レ入口、萩芙蓉台、三菱前、佐野、御宿、東名裾野、今里 | | |
| 広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合) | 19.0 | | | | |
| 増収策 | <p>1) 行政と連携した地域との意見交換を行っており、今後の路線バスの検討を行うとともに、その機会を利用して路線の存在をアピールすることにより、利用促進を図った。</p> <p>2) WEBサイトでの時刻表検索サービスの開始及び、乗換検索サービスのコンテンツプロバイダへのデータ提供により、時刻表検索サービスに対応させている。 (ナビタイム・駅すばあと)</p> <p>3) 幼稚園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施した。</p> <p>4) ノンステップバスを導入（車両更新）するとともに、既存車両についても案内表示装置を更新し、使いやすいバス環境を整備した。</p> | | | | |
| 費用削減策 | <p>1) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した。</p> <p>2) アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った。</p> <p>3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った。</p> <p>4) 効率的な作業再編による乗務員人件費の抑制を図った。</p> | | | | |
| 沿線市町のサポート | 別紙のとおり | | | | |
| 利用実態 | <p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p> | | | | |

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

| | | | | | |
|------------------------------|--|---|--|--------|--------------|
| 系統名 | 御長屋線 | | | 事業者名 | 富士急シティバス株式会社 |
| 路線の状況 | 起点 | 経由地 | 終点 | | |
| | 三島駅 | 下土狩駅 がんセンター | 桃沢郷 | | |
| 系統キロ程 (km) | 14.4 | 輸送量 (人/日) | 15.6 | | |
| 平均乗車密度 (人/便) | 2.9 | 運行回数 (回/日) | 5.4 | | |
| 公共・拠点施設 アクセス状況 | 学校 | 長泉北小学校、長泉小学校、長泉中学校 | | | |
| | 病院 | 県立がんセンター | | | |
| | 商業施設 | ウエルディ長泉、ベックマン・コールドター | | | |
| | その他 | 長泉町役場、長泉健康公園、三島市民会館、長泉町文化会館、桃沢郷野外活動センター、JR下土狩駅、JR三島駅、伊豆箱根鉄道広小路駅、ファルマバレーセンター | | | |
| 収支率 (%) (収益/費用) | 54.2 | | 乗車人員 (人) | 42,912 | |
| 乗換可能な アクセス拠点等 | 拠点3 バス停3 | 名称 | 拠点：JR三島駅、JR下土狩駅、伊豆箱根鉄道広小路駅 バス停：長泉役場、城山、がんセンター | | |
| 広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合) | 55.0 | | | | |
| 増収策 | <p>1) 行政と連携した地域との意見交換を行っており、今後の路線バスの検討を行うとともに、その機会を利用して路線の存在をアピールすることにより、利用促進を図った。</p> <p>2) WEBサイトでの時刻表検索サービスの開始及び、乗換検索サービスのコンテンツプロバイダへのデータ提供により、時刻表検索サービスに対応させている。 (ナビタイム・駅すばあと)</p> <p>3) 幼稚園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施した。</p> <p>4) ノンステップバスを導入（車両更新）するとともに、既存車両についても案内表示装置を更新し、使いやすいバス環境を整備した。</p> | | | | |
| 費用削減策 | <p>1) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した。</p> <p>2) アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った。</p> <p>3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った。</p> <p>4) 効率的な仕業再編による乗務員人件費の抑制を図った。</p> | | | | |
| 沿線市町のサポート | 別紙のとおり | | | | |
| 利用実態 | <p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p> | | | | |

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|--------|--------------|
| 系統名 | 御殿場線 | | | 事業者名 | 富士急シティバス株式会社 |
| 路線の状況 | 起点 | 経由地 | 終点 | | |
| | 三島駅 | 岩波駅 | 御殿場駅 | | |
| 系統キロ程 (km) | 21.9 | 輸送量 (人/日) | 16.2 | | |
| 平均乗車密度 (人/便) | 2.5 | 運行回数 (回/日) | 6.5 | | |
| 公共・拠点施設 アクセス状況 | 学校 | 日本大学、日大三島高校、三島北小・中学校、徳倉小学校、裾野西小学校、神山小学校、富士岡小・中学校 | | | |
| | 病院 | 大橋医院、神山復生病院 | | | |
| | 商業施設 | ベルシティ、時之栖 | | | |
| | その他 | 裾野市役所、裾野市営プール、裾野市民文化センター、裾野警察署 | | | |
| 収支率 (%) (収益/費用) | 40.1 | | 乗車人員 (人) | 62,373 | |
| 乗換可能な アクセス拠点等 | 拠点3 バス停9 | 名称 | 拠点：JR三島駅、JR岩波駅・JR御殿場駅 バス停：東レ入口、三菱前、佐野、復生病院前、かまど中、萩芙蓉台、裾野駅入口、裾野文化センター、森の腰 | | |
| 広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合) | 39.0 | | | | |
| 増収策 | <p>1) 行政と連携した地域との意見交換を行っており、今後の路線バスの検討を行うとともに、その機会を利用して路線の存在をアピールすることにより、利用促進を図った。</p> <p>2) WEBサイトでの時刻表検索サービスの開始及び、乗換検索サービスのコンテンツプロバイダへのデータ提供により、時刻表検索サービスに対応させている。 (ナビタイム・駅すばあと)</p> <p>3) 幼稚園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施した。</p> <p>4) ノンステップバスを導入（車両更新）するとともに、既存車両についても案内表示装置を更新し、使いやすいバス環境を整備した。</p> | | | | |
| 費用削減策 | <p>1) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した。</p> <p>2) アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った。</p> <p>3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った。</p> <p>4) 効率的な作業再編による乗務員人件費の抑制を図った。</p> | | | | |
| 沿線市町のサポート | 別紙のとおり | | | | |
| 利用実態 | <p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p> | | | | |

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

| | | | | | |
|------------------------------|--|--------------------------------------|--|--------|--------------|
| 系統名 | 原線 | | | 事業者名 | 富士急シティバス株式会社 |
| 路線の状況 | 起点 | 経由地 | 終点 | | |
| | 沼津駅 | 旧道 原駅入口 | 東田子浦駅 | | |
| 系統キロ程 (km) | 12.8 | 輸送量 (人/日) | 17.0 | | |
| 平均乗車密度 (人/便) | 2.5 | 運行回数 (回/日) | 6.8 | | |
| 公共・拠点施設 アクセス状況 | 学校 | 原小・中学校、沼津西高校、市立第二中学校 | | | |
| | 病院 | | | | |
| | 商業施設 | 西友松長店、カインズホーム沼津店 | | | |
| | その他 | JR沼津駅、JR片浜駅、JR原駅、JR東田子浦駅、保健センター、原警察署 | | | |
| 収支率 (%) (収益/費用) | 45.4 | | 乗車人員 (人) | 46,614 | |
| 乗換可能な アクセス拠点等 | 拠点2 バス停4 | 名称 | 拠点：JR沼津駅、JR東田子浦駅 バス停：大手町、大諏訪、片浜駅入口、原駅入口 | | |
| 広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合) | 2.0 | | | | |
| 増収策 | 1) 行政と連携した地域との意見交換を行っており、今後の路線バスの検討を行うとともに、その機会を利用して路線の存在をアピールすることにより、利用促進を図った。 2) WEBサイトでの時刻表検索サービスの開始及び、乗換検索サービスのコンテンツプロバイダへのデータ提供により、時刻表検索サービスに対応させている。 (ナビタイム・駅すばあと) 3) 幼稚園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施した。 4) ノンステップバスを導入（車両更新）するとともに、既存車両についても案内表示装置を更新し、使いやすいバス環境を整備した。 | | | | |
| 費用削減策 | 1) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した。 2) アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った。 3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った。 4) 効率的な作業再編による乗務員人件費の抑制を図った。 | | | | |
| 沿線市町のサポート | 別紙のとおり | | | | |
| 利用実態 | <p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p> | | | | |

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

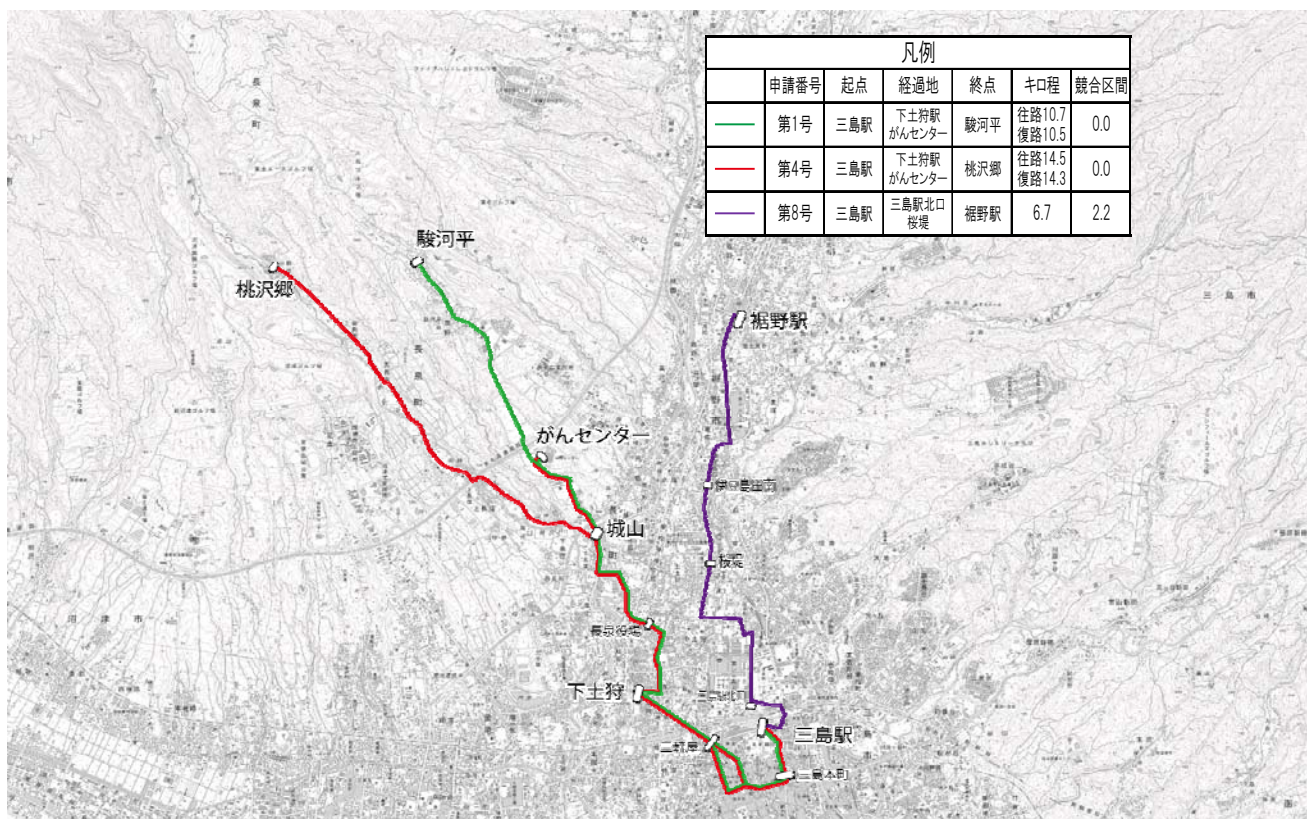
| | | | | | |
|------------------------------|--|--|--------------------------------------|--------|--------------|
| 系統名 | 沼津高専線 | | | 事業者名 | 富士急シティバス株式会社 |
| 路線の状況 | 起点 | 経由地 | 終点 | | |
| | 沼津駅 | 国産電機前 | 沼津高専 | | |
| 系統キロ程 (km) | 6.3 | 輸送量 (人/日) | 33.5 | | |
| 平均乗車密度 (人/便) | 3.9 | 運行回数 (回/日) | 8.6 | | |
| 公共・拠点施設 アクセス状況 | 学校 | 沼津中央高校、沼津市立高校、加藤学園高校、飛龍高校、沼津城北高校、沼津高専、沼津テクノカレッジ、第五小・中学校、金岡中学校、加藤学園暁秀初等学校、門池小・中学校、沼津視覚特別支援学校、沼津聴覚特別支援学校 | | | |
| | 病院 | 沼津夜間救急医療センター | | | |
| | 商業施設 | フードストアあおき | | | |
| | その他 | JR沼津駅、沼津税務署、法務局沼津支局、沼津健康福祉プラザ、沼津年金事務所、沼津商工会議所、マーレエレクトリックジャパン | | | |
| 収支率 (%) (収益/費用) | 80.0 | | 乗車人員 (人) | 55,163 | |
| 乗換可能な アクセス拠点等 | 拠点1 バス停4 | 名称 | 拠点：JR沼津駅 バス停：加藤学園入口、天神ヶ尾、宮下、国産電機前 | | |
| 広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合) | 5.0 | | | | |
| 増収策 | <p>1) 行政と連携した地域との意見交換を行っており、今後の路線バスの検討を行うとともに、その機会を利用して路線の存在をアピールすることにより、利用促進を図った。</p> <p>2) WEBサイトでの時刻表検索サービスの開始及び、乗換検索サービスのコンテンツプロバイダへのデータ提供により、時刻表検索サービスに対応させている。 (ナビタイム・駅すばあと)</p> <p>3) 幼稚園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施した。</p> <p>4) ノンステップバスを導入（車両更新）するとともに、既存車両についても案内表示装置を更新し、使いやすいバス環境を整備した。</p> | | | | |
| 費用削減策 | <p>1) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した。</p> <p>2) アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った。</p> <p>3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った。</p> <p>4) 効率的な作業再編による乗務員人件費の抑制を図った。</p> | | | | |
| 沿線市町のサポート | 別紙のとおり | | | | |
| 利用実態 | <p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p> | | | | |

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|------|--------------|
| 系統名 | 桜堤線 | | | 事業者名 | 富士急シティバス株式会社 |
| 路線の状況 | 起点 | 経由地 | 終点 | | |
| | 三島駅 | 三島駅北口 桜堤 | 裾野駅 | | |
| 系統キロ程 (km) | 6.7 | 輸送量 (人/日) | 33.3 | | |
| 平均乗車密度 (人/便) | 2.8 | 運行回数 (回/日) | 11.9 | | |
| 公共・拠点施設 アクセス状況 | 学校 | 日本大学、日本大学三島高校、三島北高校、長陵高校、裾野南小学校、 | | | |
| | 病院 | | | | |
| | 商業施設 | ノジマ長泉店、マックスバリュウ長泉土狩店、コープしずおか桜堤店 | | | |
| | その他 | ハローワーク三島、簡易裁判所、勤労体育センター、裾野警察署、裾野市役所、J R東海総合研修センター、東レ、東レ総合研修センター、三菱アルミニウム、米山梅吉記念館 | | | |
| 収支率 (%) (収益/費用) | 55.1 | 乗車人員 (人) | 48,747 | | |
| 乗換可能な アクセス拠点等 | 拠点3 バス停2 | 名称 | 拠点：J R 三島駅、J R 三島駅（北口）、J R 裾野駅 バス停：裾野南小学校、平松 | | |
| 広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合) | 91.0 | | | | |
| 増収策 | <p>1) 行政と連携した地域との意見交換を行っており、今後の路線バスの検討を行うとともに、その機会を利用して路線の存在をアピールすることにより、利用促進を図った。</p> <p>2) WEBサイトでの時刻表検索サービスの開始及び、乗換検索サービスのコンテンツプロバイダへのデータ提供により、時刻表検索サービスに対応させている。 (ナビタイム・駅すばあと)</p> <p>3) 幼稚園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施した。</p> <p>4) ノンステップバスを導入（車両更新）するとともに、既存車両についても案内表示装置を更新し、使いやすいバス環境を整備した。</p> | | | | |
| 費用削減策 | <p>1) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した。</p> <p>2) アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った。</p> <p>3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った。</p> <p>4) 効率的な作業再編による乗務員人件費の抑制を図った。</p> | | | | |
| 沿線市町のサポート | 別紙のとおり | | | | |
| 利用実態 | <p>系統キロ程(km) 50</p> <p>輸送量(人/日) 150</p> <p>平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>運行回数(回/日) 30</p> <p>収支率(%) 100</p> <p>乗車人員(人) 300,000</p> <p>広域利用状況(%) 100</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20</p> | | | | |

運 行 系 統 図

富士急シティバス株式会社



運 行 系 統 図

富士急シティバス株式会社

| 凡例 | | | | | | |
|------|-----|------------|------|------------------|------|--|
| 申請番号 | 起点 | 経過地 | 終点 | キロ程 | 競合区間 | |
| 第2号 | 三島駅 | 御宿 下和田上 | 須山 | 19.8 | 7.0 | |
| 第3号 | 三島駅 | 御宿 | 下和田上 | 往路15.6 復路15.2 | 7.0 | |
| 第5号 | 三島駅 | 岩波 | 御殿場駅 | 21.9 | 7.6 | |

